

現代人の恋愛における心理 ユングの分析心理学をもとに

阿部麻祐美

人は理想のタイプと意識しているのとは全く違うタイプの人と恋に落ちたりする。私はそこから、好意の始まりについて興味を持った。現在は恋愛できない成人が多く、メディアで取り上げられることも多いため、好意の始まりから恋愛できない理由を探ることができないかとも考えた。また、女性同士で、「この人が彼氏で、あの人は憧れの人、でも結婚はあんな人になりたい」と話すことがあったが、男性にその話をすると理解してもらえなかった経験から、異性に対する好意の持ち方には性差があるのではないかと考えるようになった。そこで心理学や社会学において恋愛について研究されてきたことを概観し、現代人の恋愛について考察することにした。

それと共に、Carl Gustav Jung の心理学の研究を視点に恋愛を分析することにした。Jung 心理学では無意識というものが大きく取り上げられており、これを元に、人の意識しない理想やタイプがどこからくるものなのかを検討した。さらに、無意識の概念には男女の差異があるため、そこから好意という感情の男女の違いについても分析した。

社会学における恋愛の研究から、好意の始まりを相手から得られる報酬の有無であると捉え、それを Jung の心理学から考察した。

Jung の心理学では心は意識と無意識からなる自己からできており、自己と意識された自分である自我とが向き合うことで個性化されることを求めている。無意識は意識内容を映すものであるとし、その一方でそれ自体が活発に活動し、無意識内容を意識化させようとしている。また、無意識内において遺伝的に伝わる無意識内容を普遍的無意識といい、ここには男性が持つ理想の女性であるアニマ、女性が持つ男性の理想像であるアニムスと作られた人格であるペルソナという心の基礎となるものとされている。

そして、無意識内にある報酬は個性化への一歩としての意識・無意識の活性化であるとして、そこから無意識内での好意が生まれるのではないかと考えた。さらに、恋愛感情の男女の違いはアニマ・アニムスにあり、それは古来から遺伝的に伝わるもので男性と女性の本来の姿から作られたものであると考えた。

そこから、草食系男子・オトメンや肉食系女子・キャリアアップを目指す女性など男女の無意識の変化を探り、2011年に放送されたドラマ『私が恋愛できない理由』を例に現代人の恋愛を考察した。そして、現在の恋愛下手な大人たちは、時代の変化と共に変わっていった異性の姿と、無意識が求める姿、意識的な好意との間で複雑な恋愛を強いられているからこそ、このような社会問題にまでなってしまったのではないかと考えた。

しかし、心の内と共通するように、現在の社会、意識と無意識すべてから目をそらさずに、認め、受け入れていくことで恋愛も心の健康も保たれていくのではないかと考察した。

(指導教員 武者小路澄子)